



ボランティア・かわらばん No.120

編集／発行：安城市ボランティア連絡協議会（安城市社会福祉協議会内）

〒446-0046 安城市赤松町大北 78-4 Tel-0566(77)2945、Fax-0566(73)0437

常任委員会を再開しました

新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、2020年の3月度、4月度、5月度の3カ月間、定例の常任委員会の開催を中止、毎年5月度に開催しているボランティア連絡協議会の総会も、緊急事態宣言が発出され自粛期間中のため中止しておりました。

緊急事態宣言が解除された6月度から常任委員会を再開しました。感染の予防で扉、窓の開放、マスク着用、検温、手指消毒などに配慮し、年度初めの議題、ボラ連運営ルールと活動支援策、ボランティアのつどい等協議しました。なお、定例総会の主要議題は、7月度の常任委員会で審議し承認されました。



コロナ対策助成金制度を新設しました

新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活は一変しました。緊急事態宣言が解除されたあとも感染防止のために新しい生活様式が求められています。ボランティア活動にも大きな影響が出ています。ボランティア活動が縮小することで、障がい者・高齢者などの生活にも影響が出ています。

そこで安城市ボランティア連絡協議会では、加盟グループのみなさんがコロナ禍の中でボランティア活動を継続するために必要な新型コロナウイルス感染予防のための物品購入費用に年度内で1万円を上限とする助成金制度を新設しました。この制度は新規加盟グループも活用できます。

7月8日現在7団体から申請があり、表のような活用がありました。

団体名	利用内容
川の会	サーキュレーター
やまびこ	透明マスク
花かご	アルコール消毒液、ペーパータオル
あぜみち	非接触型体温計、アルコール洗浄液
ジバンシー	非接触型体温計
やろMYプログラム実行隊	非接触型体温計、アルコール洗浄液
たけうま	消毒洗浄ジェル

受賞 おめでとうございます！

2020年4月25日

安城市身体障害者福祉協会より、音訳活動で活躍されている安城ひびきの会「梶川鈴子」さんが長年の活動に対し感謝状を受賞されました。

新規加入グループ紹介

●舞歌の会

舞歌の会を立ち上げたのは平成24年。その名の通り、踊り、歌、手品、風船アートなどを得意とする人達が集まって出来た会です。西三河全域の介護施設の慰問活動をしています。

介護を受けている人や、スタッフの方々と共に楽しみ、喜んでいただけるように頑張っております。

●昭和の語り部・あんじょう

わたしたち「昭和の語り部・あんじょう」は、平成21年より活動開始しました。

活動目的は、平成から令和へと時代は進み、遠くなりつつある「昭和」の様々な記録や記憶そして文化・生活を共に語り、悲しい出来事が二度と起こらないようにする、災害に対する知恵を共有することなどです。活動内容は「各種イベントにおいて、戦争・災害の経験を語り継ぐ。活動依頼を受け、様々な場・人々と昭和を語り、歌う」などです。

●自然に学び・ローゼルを育てる会

「ローゼルを植えて福祉の花を咲かそう」 ローゼルを通じて、高齢者と障がい者の働く場を増やす活動と高齢者の生きがいづくりを、支援・応援しています。秋にピンクの花が咲き、一本から100個ほどの実が収穫できます。料理の材料やジャム、お茶に。楽しく、おいしい活動です。



●ami セルクル

はじめまして「amiセルクル」です。フランス語で「友の輪」という意味です。ソーイングの好きな仲間の集いです。皆様のお役にたてばと思い、夏使用のマスク200枚を製作し寄贈しました。

笑いとおしゃべりが大好きな仲間たちです。

新規担当職員紹介

● 事業係2年目の「岡本真梨子」です。

大きな女子が会館の1階に座っています。その人です。

身体は大きいですが、怖くないですよ？ 皆さんと沢山お話して、(できれば楽しい話がいいです)たくさん学ばせて頂きたいと思えます。精一杯お手伝いしていきますので、よろしくお願いします！



● はじめまして！ 4月に社協に入職しました「廣瀬祐子」と申します。

岐阜県出身で、この就職を機に安城市に引っ越ししました。まだまだわからないことばかりですが、福祉教育を担当していますので、お世話になることが多いと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

